

令和５年度 市民と市長の意見交換会（要旨）

【開催概要】

テーマ	「子育て政策について」
日時	令和５年１１月１１日（土）１０：３０～１２：００
場所	駅北庁舎４階大ホール
対象者	市内在住で中学生以下の子どもを養育している方、 市長と子育て政策について語りたい方
参加人数	７人

Ⅰ 保育園・幼稚園

（１）育休退園のルールを緩和してください。近隣自治体と比べて厳しいと思います。

（市長）多治見市では年間３０人前後が育休退園されています。育休退園について多くのご意見をいただき、重要な課題だと認識していますが、保育士の確保難が深刻で、すぐに解決できる状況ではありません。まずは、選挙のマニフェストで掲げた第２子以降の保育料無償化に取り組んでいきます。

（２）保育園の一時保育は定員一杯で、弔事など急に利用しなければならなくなったときなど、希望どおり受け入れてもらえません。

また、幼稚園の預かり保育も月７回までとなっていて、利用しにくい印象があります。

（市長）一時保育や預かり保育については、育休退園の問題と同様に保育士の確保が課題です。今後、笠原こども園の整備などを通じて、利便性の向上を考えていきます。

<その他のご意見>

・保育士不足を緩和するため、必要な研修を受講して保育士を補助する職員を雇ってはどうか。

・潜在保育士の方が再就職するとき、公立保育園は異動があるので私立保育園を選ぶと伺いました。働き方を選択できる柔軟性が大事だと思います。

・幼稚園の園児が少なくなっていると聞きました。例えばインターナショナルスクール化するなど、幼稚園の魅力を高めてはどうか。

・保育園の入園判定を有利にするため、やむを得ず勤務時間を増やす方もいます。入園するために勤務形態を変えなければならないという制度は、本末転倒だと思います。

・兄弟がいる場合の取扱いなど入園判定の優先度の公平性について、他市の状況と比較し、検証してください。

2 ファミリー・サポート・センター事業（以下、ファミサポ）

（１）子どもが４人おり、前住地では、ファミサポとシルバー人材センターの援助サービスに助けられました。誰かと話ができるだけでもありがたかったので、利用しやすい料金設定にして、誰でも気軽に利用できる環境になると良いです。

（市長）子育ての大変な時期にサポートできる体制があることは大事なことです。シルバー人材センターの活用など、利用しやすい方法を考えていきます。

<その他のご意見>

・私は他人を家に入れるのは、少し怖い気がします。部屋の片付けもしなければと気になってしまいます。

・保健センターの０歳児訪問の時などにファミサポの人と一緒に来て、顔合わせや説明をしていただけると、利用のハードルが下がると思います。

・高齢出産だと親の介護も必要になってくるので、ファミサポなどの支援は助かります。大変な時に誰かが来てくれるだけで安心できます。そのためにも、利用しやすい金額であることが重要です。

3 子どもの遊び場

（１）子どもが遊べる公園が少ないです。また、他市のような屋内で体を動かせる大型の施設があるといいです。

（市長）公園については多くの要望をいただいております。順次見直しを行っていきます。屋内施設については、全小学校区にある児童館など、他市にはない多治見のいいところを大事にしながら、今後のことも考えていきます。

（２）多治見の夏はかなり暑いです。コパンのプールが一般開放されていましたが、２レーンしか使用できず、大勢の方が訪れて大変混雑している状態でした。市民プールがあると良いです。

（市長）市民プールは建設費、維持費などで高額な経費がかかります。あるものを活用していこうということで、今年はコパンのプールを一般開放していただきました。今後のご意見を伺いながらより良い方法を検討していきます。

4 学校給食、子ども食堂

（１）夏休みに市民食堂として学校給食が食べられる機会を作ってはどうか。大人は有料で子どもにはチケットを配るなど配慮もしながら開催ができると良いと思います。

（市長）地域の子ども食堂とのバランスもありますが、市民食堂のような形で給食を食べられるという案は面白いと思います。

＜その他のご意見＞

- ・小学生の子どもが学校の給食がおいしいと言っていて、一度食べてみたいので試食会等を企画してもらえると嬉しいです。
- ・PTA が企画した給食試食会に行ったことがあります、大変良かったです。
- ・育児休業中は子ども食堂をありがたく利用していました。市としても子ども食堂を盛り上げていただけるとありがたいです。
- ・未満児の子どもを抱えて３食のご飯を用意するのは大変です。食事を提供していただける場合は、ありがたく利用させてもらっていました。

5 経済的支援

（１）育児休業給付金のほかに、長期の育児休業取得者に対する助成金などの制度があるとありがたいと思います。

（市長）一自治体で取り組むことは難しいですが、様々な機会で国や県に要望していきます。

（２）他市通学の費用を支援している市もあるので多治見市でも検討していただきたいです。

（市長）子育てでお金がかかるのは中学校、高校だと聞きます。令和 7 年度から 18 歳までの医療費無料化を始めるなど、段階的とはなりますが 18 歳までの子どもに対する支援も進めていきます。

＜その他のご意見＞

- ・育児支援の給付金等の支給判断が前年所得を基準としており、急激の所得が下がった状況だと給付金が支給されない場合もあります。現状で判断していただけるとありがたいです。
- ・きょうだいの年齢の差によって受けられるサービスが変わってしまうことは、不公平だと感じます。

6 教育

（１）子どもが発達支援センターに通所していましたが、小学校就学前後で支援内容に隔たりがある感じがします。発達支援センターの方が手厚い支援だった印象です。

（市長）発達支援センターでの療育を高く評価していただきありがとうございます。小学校就学前からの切れ目ない支援が重要だと感じました。

（２）「自分も相手も大事にする」、「命を大事にする」ということを学ぶ機会として、幼少期からの性教育に力を入れてもらいたいです。また、親が性教育について学べる機会もつくって欲しいです。

（市長）学校での性教育は、保健の授業の中で行っています。タイミングが難しく正解がないことだと思います。

＜その他のご意見＞

- ・特別支援学級は、進級しても担任の先生が変わらず、長期間に渡って関係性が続くことが多いので、子どもとの相性が大切になると思います。
- ・保育園などでは、療育が必要な子どもも一緒に保育を受けているので、周りの子どもも自然に受け入れています。小学校入学後は、特別支援学級や特別支援学校に区別されてしまいます。学級間、学校間の交流が少なすぎると思います。
- ・小学校は、「心を育む場所」であるべきだと思います。先生方には、学習に苦手意識がある子へのフォローや心の教育に力を入れて欲しいです。

7 その他

（１）町内会への参加について負担に思うことがあります。負担感なく活動できると良いと思います。

（市長）災害などに対して町内会をはじめとした自治組織の役割は大きいです。一方で役員の負担軽減や組織の継続のためにどのようにしたらいいのか考えていきます。

（２）新庁舎建設について、すぐそばに虎渓用水広場もあるので、市民が集えて楽しめる場所にしてください。

（市長）今後、市民のにぎわいにつながるような検討をしていきます。